



# 大きな木の下

船を待つ時間も楽しむ。  
島に向かう人や迎える人にとっての  
「よりどころ」となる場の創出。

## ・モチーフ

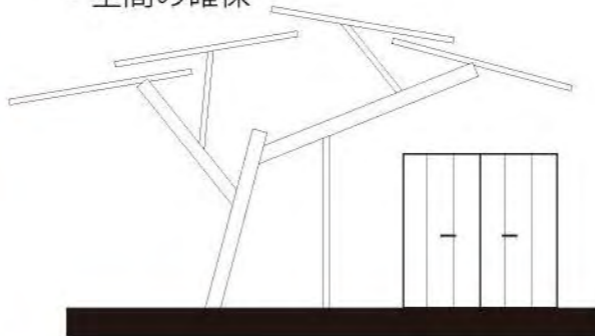


## ・求心性



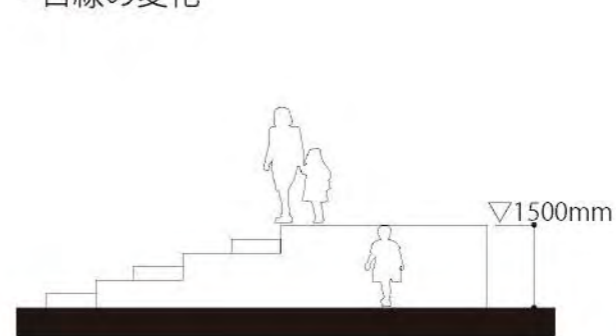
大きな屋根の下に影が落ちることにより、人が集まりやすい場をつくる。

## ・空間の確保



上に高く横に広く伸びる柱により、空間を大きくしコンテナからの荷ほどこスペースを確保する。

## ・目線の変化



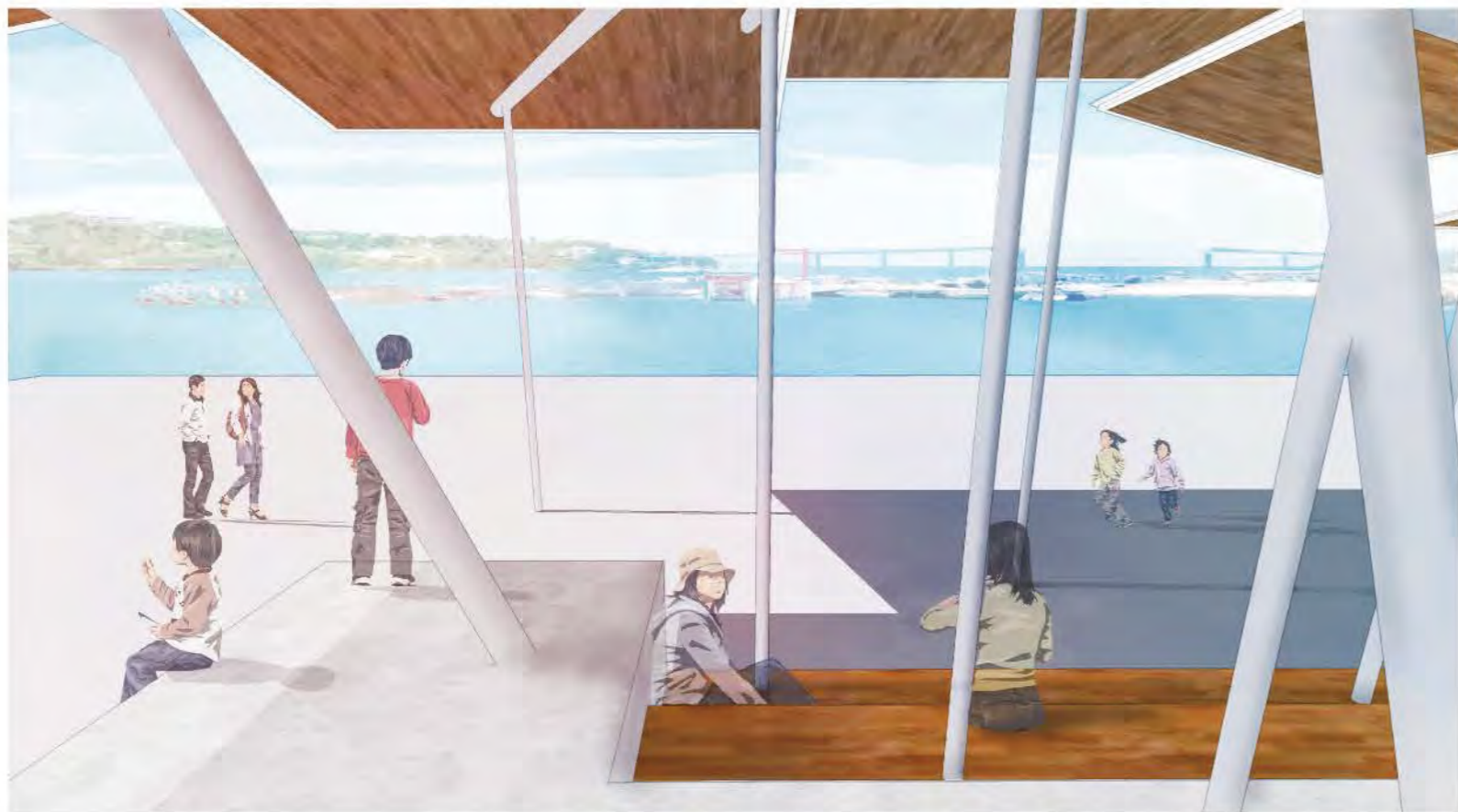
段差をつくることにより座る場をつくる。さらに普段より少し高い目線になることで、より船が近づいてくるワクワクを感じる。

## ・拡張性



必要に応じガジュマル（屋根）を植林（拡張）できるので発展するに従い森（にぎわい）となる。

沖縄にて古くから親しまれているガジュマルの木のようによりどころとなるような場をつくる。



### ■ 提案

#### 1. 思い耽る

ただ待つための屋根ではなく、くつろぎ、様々な思いを巡らせるような屋根。

#### 2. 空間

屋根が葉のように重なっているため、多様な陰影や木漏れ日を生み出す。

#### 3. 準備

遠くから来る船の存在を、よく確認できるため乗船や迎いの準備をスムーズに行える。

#### 4. 防犯

どこからでも視線が通るので不審な行動を直ちに把握できる。

### ■ 建築概要

階数：地上1階

構造：鉄骨造＋一部RC造

床面積：478.43m<sup>2</sup>

軒先高さ：4.00m

最高高さ：7.71m

